



前小だより

ひたちなか市立前渡小学校
令和5年度学校だより
No.8 9月号
令和5年9月1日(金)

今を変えれば未来が変わる

前期終了まで 25日間が 授業日!!

7月21日から始まった夏休みは全部で42日間でしたが、本当に暑いあつい日が続きました。

さて、今年の夏はどれくらい暑かったのでしょうか。

夏休み最初の三日間は最高気温が29℃、28℃、29℃と30℃を下回りましたが、その後は最高気温が30℃を超えない日は1日だけでした。8月は初日の一日のみ最高気温が27℃で、その後は雨が降ろうが曇りであろうが、とにかく最高気温が30℃を下回った日はありません。長期予報では、10月になっても残暑日があるのではとも言われているので、今日からの学校生活では健康管理と体調管理に、まずは気を配りましょう。

自分の体調をよりよく維持する上で大切にしてほしいことは、まずは生活リズムを整えることです。特に次の三つ、

『早起き・早寝・朝ごはん』

です。

早く起きれば早く眠くなるでしょうから、まずは肝心かなめの朝、一日の始まりを自分で始められるといいですね。お家(うち)の方(かた)に起こされずに、自分で起き(られ)ることが自立の第一歩です。

それからもう一つ、必ず朝ごはんを食べてから登校してください。一日の生活に必要なエネルギーを蓄えることは、熱中症の予防にもつながります。まずは前期終了までの25日間、暑さに負けない心身の強さを生活リズムを整えることで養いましょう。



今年度も那珂湊の地を舞台に児童・生徒会交流会「笑顔サミット」が開催され、本校からは6年生代表委員の女子2名が参加しました。二人はそれぞれに司会者と記録者として臨みました。

今回の話合いのテーマは「相手を思いやる心を育てるために何ができるか」でした。1グループあたり5人程度の人数で活発に意見交換をしました。普段知らない、初めて会う他校の児童とのやり取りで緊張するところもあったかと思いますが、しっかりと話に耳を傾けて、その場で感じ考えたことを自分の言葉で発表していて、とても立派でした。

二人の感想は裏通信に掲載したので、ぜひ御一読ください。

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果から
今年度6年生を対象に実施した上記テストの結果を、抜粋してお伝えします。

教科	平均正答率(%)		
	全国	茨城	本校
国語	67.2	67	全国を上回っている 茨城県を上回っている
算数	62.5	61	全国を下回っている 茨城県と同等である

続いて、児童質問紙の結果です。
まず、次の質問項目については、全国・茨城県と比べて、ともに本校は上回っていました。

質問内容	全国	茨城
①読書は好きですか	39.4	37.0
②国語の勉強は好きですか	23.8	24.2
③算数の勉強は好きですか	34.8	34.7
④英語の勉強は好きですか	39.6	40.9
⑤自分にはよいところがあると思う	42.9	39.4
⑥先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	49.9	46.8
⑦困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	33.4	31.2
⑧学校に行くのは楽しいと思いますか	49.8	52.2
⑨友達関係に満足していますか	63.2	64.9

一方で、次の質問項目については、全国・茨城県と比べて、ともに本校は下回っていました。

質問内容	全国	茨城
⑩将来の夢や目標をもっていますか	60.8	62.6

気になるのは、⑩の正答率が下回っていることです。本校では、今年度の学校経営の重点の一つに「キャリア教育の推進」を掲げています。「なりたい自分・理想の姿」のイメージを今よりももてるように、指導の改善に努めていきます。



前小(裏)通信

生活の柱 : 時間と空間それから仲間、三つの『間(あいだ)』を大切に

Key Word : 間が大事 笑顔さわやか ワクワクと 宝は仲間 理想に向かって

児童・生徒会交流会参加児童の感想から



私は、5年生の時に県庁に行っていたので受け答え・頭の中で原稿無しで文を考えることなどを学び、県庁でいろんな方と挨拶を交わしたりお話をしたりしたので、自信がありました。少し緊張しましたが、今回休みの子がいて急遽記録を任せられ、もっと緊張が増しました。記録係になって、前小のいじめ防止について話すこととメモをとることの両方をしなければならなかったので大変だったけど、なんとか乗り越えました。他の学校は、劇でいじめ防止をしたり、ポスターでいじめを防止したりしているとのことでした。劇でいじめ防止をしていると聞いて、私は劇をやりたいと思いました。笑顔サミットに行って代表委員としての仕事ができ、達成感がありました。



笑顔サミットでは相手を思いやる心を育てるために、どのような取り組みができるのかについて話し合いました。各学校の発表で特に印象に残ったことが四つあります。
一つ目は勝倉小で何でも BOX を作り、嬉しかったことや悲しかったことを紙に書いて BOX にいれ、それらとともにその解決方法も昼の放送で流し、もう起こらないようにしているのがいいと思いました。
二つ目は佐野小の「SAMO」のキーワードを大切にして生活しているところです。Sはすこやか。Aはあいさつ。Mはマナー。Oは思いやり。この思いやりを一番大切にして学校生活をおくっているところがいいと思いました。
三つ目は、美乃浜学園で1年生を迎える会のかわりに、6年生の各学級が1年生の黒板に1年生に向けてのメッセージを書いたり、絵を書いたりしているのがいいと思いました。
四つ目は、高野小でいじめについての劇を考えてビデオにとり、みんなに見てもらっていじめは絶対にしてはいけないということを各学年に教えているところがいいと思いました。
このサミットに参加し、思いやりの心を育てるためにどのようなことができるのかがよく分かりました。自分にはない意見が沢山あったので参考にします。もし、中学校でも笑顔サミットがあれば積極的に参加したいと思いました。

ひたちなか市の地域別面積・通学区域等について

ひたちなか市 通学区域図



「統計ひたちなか」という冊子(報告書)があります。先日、令和4年度版が届きました。その中に「地域別土地面積」という欄があります。この地名をよく眺めてみると、旧勝田地区だけで83、旧那珂湊地区は71の町(字)名が記載されていました。(これら以外に、地名の記載されていない「その他の地域」あり)

気づいたことがあります。ひたちなか市内で最も広い地域は「長砂」で「7,170 千 m²」、2番目は「阿字ヶ浦町」で「6,145 千 m²」、3番目は「馬渡」で「5,906 千 m²」、4番目は「中根」で「5,632 千 m²」、5番目は「新光町」で「4,999 千 m²」、6番目が「足崎」で「4,953 千 m²」でした。この前渡小・勝田三中の学区は、実に「広い町(字)」が集まって、成り立っていることが分かりました。面積がただ広いということだけではあっても、ひたちなか市の上位をこの学区が占めているということは、なんとなく嬉しいものです。

話は変わりますが、ひたちなか市の小学校(義務教育学校)区の通学区域図は、ざっと左図の通りです。パッと見ただけでも、前渡小学校の学区がいかに広いかが分かります。

ちなみに、かつての前渡小の学区は、この地図よりもさらに広い地域に及んでいました。美乃浜学園の誕生により通学区域が見直され、いわゆる「交通公園:安全運転中央研修所」一帯が、前渡小の学区ではなくなったようです…。

最後に余談ですが、「前渡」の語源の一画(一角)をなしている「前浜」は「30 千 m²」でした。この「前浜」の地区は、現在も前渡小の学区のようです。

※. 前渡小と高野小の間には、○で囲まれた地域があります。ここは選択区域と呼ばれるところで、どちらの小学校に通うかは、任意で選べるとのことです。